



2020年3月期 第1四半期決算短信〔日本基準〕（連結）

2019年8月6日

上場会社名 三井倉庫ホールディングス株式会社

上場取引所 東

コード番号 9302

URL <https://www.mitsui-soko.com>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 古賀 博文

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員経理部長 (氏名) 松井 博文 TEL 03-6400-8006

四半期報告書提出予定日 2019年8月7日 配当支払開始予定日 ー

四半期決算補足説明資料作成の有無：有

四半期決算説明会開催の有無：有（証券アナリスト、機関投資家向け）

（百万円未満切捨て）

1. 2020年3月期第1四半期の連結業績（2019年4月1日～2019年6月30日）

(1) 連結経営成績（累計）

（％表示は、対前年同四半期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属する 四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
2020年3月期第1四半期	60,974	2.5	3,363	17.4	3,304	27.0	1,830	17.8
2019年3月期第1四半期	59,473	7.2	2,865	68.7	2,601	22.5	1,553	35.7

（注）包括利益 2020年3月期第1四半期 1,003百万円（△11.9%） 2019年3月期第1四半期 1,138百万円（△53.0%）

	1株当たり 四半期純利益	潜在株式調整後 1株当たり 四半期純利益
	円 銭	円 銭
2020年3月期第1四半期	73.70	ー
2019年3月期第1四半期	62.54	ー

※当社は、2018年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、1株当たり四半期純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
2020年3月期第1四半期	248,912	52,623	19.3
2019年3月期	252,078	52,243	18.8

（参考）自己資本 2020年3月期第1四半期 47,997百万円 2019年3月期 47,404百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
2019年3月期	ー	0.00	ー	12.50	ー
2020年3月期	ー				
2020年3月期（予想）		12.50	ー	12.50	25.00

（注）直近に公表されている配当予想からの修正の有無：無

※当社は、2018年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。2019年3月期の1株当たり期末配当金につきましては、当該株式併合を考慮した金額を記載し、年間配当金は「ー」として記載しております。

3. 2020年3月期の連結業績予想（2019年4月1日～2020年3月31日）

（％表示は、通期は対前期、四半期は対前年同四半期増減率）

	営業収益		営業利益		経常利益		親会社株主に帰属 する当期純利益		1株当たり 当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
第2四半期（累計）	120,000	△0.5	6,000	△3.0	5,300	△4.4	3,100	△0.4	124.82
通期	238,000	△1.6	10,000	△16.6	8,900	△19.7	5,700	9.8	229.50

（注）直近に公表されている業績予想からの修正の有無：有

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動（連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動）：無
 新規 一社 （社名） 除外 一社 （社名）

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用：無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数（普通株式）

① 期末発行済株式数（自己株式を含む）	2020年3月期1Q	24,883,002株	2019年3月期	24,883,002株
② 期末自己株式数	2020年3月期1Q	46,589株	2019年3月期	46,569株
③ 期中平均株式数（四半期累計）	2020年3月期1Q	24,836,413株	2019年3月期1Q	24,836,600株

※当社は、2018年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、期中平均株式数は、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

※ 四半期決算短信は公認会計士又は監査法人の四半期レビューの対象外です

※ 業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

1. 本発表資料の中で、予想、見通し、目標といった歴史的事実でない数値につきましては、現時点で入手可能な情報及び将来の業績に影響を与える不確実な要因を前提に算出したものであり、実際の業績は異なる結果となる可能性があります。業績予想に関する事項につきましては、（添付資料）3ページ「1.（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご参照ください。

2. 「2020年3月期 第1四半期決算短信」より日付の表示方法を和暦表示から西暦表示に変更しております。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	2
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. 四半期連結財務諸表及び主な注記	4
(1) 四半期連結貸借対照表	4
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	6
四半期連結損益計算書	
第1四半期連結累計期間	6
四半期連結包括利益計算書	
第1四半期連結累計期間	7
(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書	8
(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)	9
(セグメント情報等)	10
3. 補足情報	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第1四半期におけるわが国経済は、緩やかな回復が続くものの、鉱工業生産指数は前年同期比横ばい傾向にあり、輸出にも弱さが見られることから、依然として先行き不透明な状況が続いております。物流を取り巻く環境は、保管残高が前年同期比増加傾向にあるものの、荷動きを示す回転率は横ばいが続き、人手不足による人件費の上昇、米中間の通商政策による影響が見通せないことから、先行きについては不透明な事業環境が継続しております。

こうした経済環境の中、当社グループは、「中期経営計画2017」で定めた抜本的事業収益力の強化に関する各種施策の実行及び物流事業における航空貨物のプロジェクト輸送の発生や、貨物の保管残高が高い水準で推移したこと、不動産事業において賃料収入が増加したことなどにより、連結営業収益は前年同期比15億円増の609億74百万円、連結営業利益は同4億98百万円増の33億63百万円、連結経常利益は同7億3百万円増の33億4百万円、親会社株主に帰属する四半期純利益は同2億77百万円増の18億30百万円となりました。

セグメントごとの経営成績は次のとおりであります。

(イ) 物流事業

収益面では航空貨物市況の悪化に伴う電子部品、半導体等の航空輸送の取扱量減少、天候不順が続いたことによる家電量販店向け物流の取扱量減少、費用面では人手不足による人件費の上昇など、外部環境の変化による影響はあったものの、「中期経営計画2017」の下、物流事業における抜本的事業収益力の強化を目指し、販管費等のコスト削減、粗利益改善施策など、各種施策の実行に加え、航空輸送業務における自動車関連貨物のプロジェクト輸送の発生、倉庫業務の主要貨物であるコーヒー豆の取扱増加により保管残高が高い水準で推移したことなどから、営業収益は前年同期比14億12百万円増の587億65百万円となり、営業利益は同4億29百万円増の27億43百万円となりました。

(ロ) 不動産事業

主要テナントとの契約更改に伴い賃料収入が増加し営業収益は前年同期比87百万円増の23億92百万円、営業利益は同1億8百万円増の13億98百万円となりました。

(2) 財政状態に関する説明

①財政状態の変動状況

当第1四半期の総資産は「中期経営計画2017」の下、財務基盤の再建を目指し、手元資金を圧縮し有利子負債の返済に充てたことによる現預金減少や、償却の進行に伴う固定資産の減少などから、前連結会計年度末より31億66百万円減の、2,489億12百万円となりました。

純資産は、円高の進行に伴う為替換算調整勘定の減少があったものの、親会社株主に帰属する四半期純利益の計上などにより、前連結会計年度末より3億80百万円増の、526億23百万円となりました。

②キャッシュ・フローの状況

当第1四半期の営業活動によるキャッシュ・フローは、税金等調整前四半期純利益の増加などにより、前年同期比3億46百万円増加の36億38百万円の収入となりました。

投資活動によるキャッシュ・フローは、「中期経営計画2017」の下、前期に引き続き不要不急の投資を抑制した結果、前年同期比1億11百万円の支出減少となる13億7百万円の支出となりました。

財務活動によるキャッシュ・フローは、借入金の返済などにより39億47百万円の支出となりました。

以上の結果、現金及び現金同等物の当第1四半期末残高は、前連結会計年度末より19億66百万円減の210億37百万円となりました。

③キャッシュ・フロー関連指標の推移

	2018年 3月期	2018年6月 第1四半期	2019年 3月期	2019年6月 第1四半期
自己資本比率(%)	16.8	17.5	18.8	19.3
時価ベースの自己資本比率(%)	16.0	16.7	17.9	15.5
キャッシュ・フロー対有利子負債比率	12.9	11.4	7.7	9.6
インタレスト・カバレッジ・レシオ	8.7	12.9	14.1	17.7

(注) 自己資本比率：自己資本／総資産

時価ベースの自己資本比率：株式時価総額／総資産

キャッシュ・フロー対有利子負債比率：有利子負債／キャッシュ・フロー

インタレスト・カバレッジ・レシオ：キャッシュ・フロー／利払い

1. 各指標は、いずれも連結ベースの財務数値により計算しております。
2. 株式時価総額は、期末株価終値×期末発行済株式数（自己株式控除後）により算出しております。
3. キャッシュ・フローは連結キャッシュ・フロー計算書の営業活動によるキャッシュ・フローを使用しております。有利子負債は、連結貸借対照表に計上されている負債のうち利子を払っている全ての負債を対象としております。また、利払いについては、連結キャッシュ・フロー計算書の利息支払額を使用しております。
4. キャッシュ・フロー対有利子負債比率は、キャッシュ・フローを年額に換算するため第1四半期では4倍して算出しております。

(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

当第1四半期において「中期経営計画2017」におけるコスト削減、粗利益改善施策等、抜本的事業収益力の強化に関連する各種施策が順調に進捗していることに加え、航空輸送業務における自動車関連貨物のプロジェクト輸送の発生、倉庫業務において主要貨物の保管残高が高い水準で推移したことなどから業績が予想を上回り推移した結果を踏まえ、第2四半期累計期間の連結業績予想値を修正いたしました。

なお、通期業績予想については、下期の動向を精査中であり、2019年5月9日に公表した数値を据え置いております。今後、業績動向を踏まえ、修正の必要がある場合は、速やかに開示いたします。

〔2020年3月期 第2四半期累計期間（2019年4月1日～2019年9月30日）連結業績予想〕

	営業収益	営業利益	経常利益	親会社株主に 帰属する 四半期純利益	1株当たり 四半期純利益
①前回発表予想	百万円 120,000	百万円 5,600	百万円 4,900	百万円 2,900	円 銭 116.76
②今回修正予想	120,000	6,000	5,300	3,100	124.82
③増減額 ②－①	—	400	400	200	—
④増減率 ③／①	—	7.1%	8.2%	6.9%	—
参考：前年同期実績 (2019年3月期第2四半期)	120,659	6,183	5,541	3,111	125.27

※当社は、2018年10月1日を効力発生日として普通株式5株につき1株の割合をもって株式併合を実施しております。これに伴い、1株当たり四半期純利益は、前連結会計年度の期首に当該株式併合が行われたと仮定し、算定しております。

2. 四半期連結財務諸表及び主な注記

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	23,643	21,559
受取手形及び営業未収金	31,858	31,665
たな卸資産	581	579
その他	8,780	10,153
貸倒引当金	△77	△86
流動資産合計	64,786	63,871
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	77,282	75,914
土地	55,731	55,695
その他(純額)	6,672	6,878
有形固定資産合計	139,686	138,487
無形固定資産		
のれん	7,300	6,864
その他	5,612	5,646
無形固定資産合計	12,912	12,511
投資その他の資産		
投資有価証券	15,046	14,949
その他	20,208	19,657
貸倒引当金	△563	△564
投資その他の資産合計	34,692	34,041
固定資産合計	187,291	185,040
資産合計	252,078	248,912

(単位:百万円)

	前連結会計年度 (2019年3月31日)	当第1四半期連結会計期間 (2019年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び営業未払金	17,384	17,102
短期借入金	1,864	2,293
1年内返済予定の長期借入金	12,672	12,783
1年内償還予定の社債	10,000	10,000
未払法人税等	1,690	1,028
賞与引当金	3,074	2,005
その他	16,923	18,510
流動負債合計	63,610	63,723
固定負債		
社債	30,000	30,000
長期借入金	87,934	84,155
退職給付に係る負債	6,466	6,534
その他	11,824	11,874
固定負債合計	136,225	132,564
負債合計	199,835	196,288
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,100	11,100
資本剰余金	5,464	5,464
利益剰余金	23,816	25,336
自己株式	△102	△102
株主資本合計	40,279	41,799
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	6,060	5,992
繰延ヘッジ損益	0	0
為替換算調整勘定	307	△570
退職給付に係る調整累計額	757	776
その他の包括利益累計額合計	7,125	6,198
非支配株主持分	4,838	4,625
純資産合計	52,243	52,623
負債純資産合計	252,078	248,912

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

(四半期連結損益計算書)

(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
営業収益		
倉庫保管料	7,627	8,405
倉庫荷役料	6,903	7,008
港湾作業料	4,750	4,623
運送収入	27,639	28,477
不動産収入	2,120	2,208
その他	10,432	10,250
営業収益合計	59,473	60,974
営業原価		
作業直接費	28,421	28,918
賃借料	4,165	4,328
減価償却費	1,742	1,723
給料及び手当	9,423	9,606
その他	8,291	8,405
営業原価合計	52,045	52,982
営業総利益	7,428	7,991
販売費及び一般管理費		
減価償却費	274	282
報酬及び給料手当	2,031	2,122
のれん償却額	312	269
その他	1,944	1,953
販売費及び一般管理費合計	4,562	4,627
営業利益	2,865	3,363
営業外収益		
受取利息	46	48
受取配当金	195	229
持分法による投資利益	39	22
その他	153	118
営業外収益合計	434	419
営業外費用		
支払利息	339	319
為替差損	197	70
その他	161	89
営業外費用合計	698	478
経常利益	2,601	3,304
特別損失		
固定資産除却損	—	28
特別損失合計	—	28
税金等調整前四半期純利益	2,601	3,276
法人税等	862	1,201
四半期純利益	1,738	2,074
非支配株主に帰属する四半期純利益	185	244
親会社株主に帰属する四半期純利益	1,553	1,830

(四半期連結包括利益計算書)
(第1四半期連結累計期間)

(単位:百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
四半期純利益	1,738	2,074
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	△467	△68
繰延ヘッジ損益	1	0
為替換算調整勘定	△51	△826
退職給付に係る調整額	△25	20
持分法適用会社に対する持分相当額	△57	△197
その他の包括利益合計	△600	△1,071
四半期包括利益	1,138	1,003
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,011	903
非支配株主に係る四半期包括利益	126	99

(3) 四半期連結キャッシュ・フロー計算書

(単位：百万円)

	前第1四半期連結累計期間 (自 2018年4月1日 至 2018年6月30日)	当第1四半期連結累計期間 (自 2019年4月1日 至 2019年6月30日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益	2,601	3,276
減価償却費	2,017	2,006
のれん償却額	312	269
貸倒引当金の増減額 (△は減少)	0	13
賞与引当金の増減額 (△は減少)	△1,019	△1,059
退職給付に係る負債の増減額 (△は減少)	134	68
受取利息及び受取配当金	△242	△278
支払利息	339	319
持分法による投資損益 (△は益)	△39	△22
有形固定資産売却損益 (△は益)	△19	△22
投資有価証券売却損益 (△は益)	0	—
固定資産除却損	3	39
売上債権の増減額 (△は増加)	△1,094	△67
仕入債務の増減額 (△は減少)	666	△129
その他	1,356	928
小計	5,016	5,342
利息及び配当金の受取額	325	348
利息の支払額	△254	△205
法人税等の支払額	△1,795	△1,845
営業活動によるキャッシュ・フロー	3,292	3,638
投資活動によるキャッシュ・フロー		
有形固定資産の取得による支出	△920	△1,169
有形固定資産の売却による収入	26	31
無形固定資産の取得による支出	△172	△278
無形固定資産の売却による収入	1	1
投資有価証券の取得による支出	△4	△4
投資有価証券の売却による収入	0	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	※ △460	—
関係会社株式の取得による支出	△16	—
貸付けによる支出	△5	△10
貸付金の回収による収入	30	6
定期預金の預入による支出	△0	△0
定期預金の払戻による収入	102	115
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,418	△1,307
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	486	500
短期借入金の返済による支出	△8,955	△70
長期借入れによる収入	18,327	—
長期借入金の返済による支出	△6,868	△3,586
社債の償還による支出	△10,000	—
非支配株主への払戻による支出	—	△39
配当金の支払額	—	△310
その他	△361	△440
財務活動によるキャッシュ・フロー	△7,371	△3,947
現金及び現金同等物に係る換算差額	△374	△351
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△5,871	△1,966
現金及び現金同等物の期首残高	25,296	23,004
現金及び現金同等物の四半期末残高	19,425	21,037

(4) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

該当事項はありません。

(四半期連結キャッシュ・フロー計算書関係)

※ 前第1四半期連結会計期間における「連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出」△460百万円は、2016年3月期に取得したPrime Cargo A/S及びPrime Cargo (H.K.) Ltd.の株式取得代金の未払分を支払ったことによるものです。

(セグメント情報等)

【セグメント情報】

I 前第1四半期連結累計期間(自2018年4月1日至2018年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	物流事業	不動産事業			
営業収益					
(1) 外部顧客への 営業収益	57,352	2,120	59,473	—	59,473
(2) セグメント間の 内部収益又は振替高	—	184	184	(184)	—
計	57,352	2,304	59,657	(184)	59,473
セグメント営業利益	2,314	1,289	3,604	(738)	2,865

(注)1. セグメント利益の調整額△738百万円は、連結財務諸表提出会社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント営業利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

II 当第1四半期連結累計期間(自2019年4月1日至2019年6月30日)

1. 報告セグメントごとの営業収益及び利益又は損失の金額に関する情報

(単位:百万円)

	報告セグメント		合計	調整額 (注)1	四半期連結損益 計算書計上額 (注)2
	物流事業	不動産事業			
営業収益					
(1) 外部顧客への 営業収益	58,765	2,208	60,974	—	60,974
(2) セグメント間の 内部収益又は振替高	—	184	184	(184)	—
計	58,765	2,392	61,158	(184)	60,974
セグメント営業利益	2,743	1,398	4,141	(778)	3,363

(注)1. セグメント利益の調整額△778百万円は、連結財務諸表提出会社の管理部門に係る費用であります。

2. セグメント営業利益は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

3. 補足情報

2020年3月期 第1四半期決算参考資料

1. 経営成績の概要 (連結)

(単位: 百万円)

	第1四半期 (4月1日～6月30日)				通期 (4月1日～3月31日)			
	2019年 3月期	2020年 3月期	増減		2019年 3月期 実績	2020年 3月期 予想	増減	
			金額	率 (%)			金額	率 (%)
営業収益	59,473	60,974	1,500	2.5	241,852	238,000	△3,852	△1.6
営業利益	2,865	3,363	498	17.4	11,986	10,000	△1,986	△16.6
経常利益	2,601	3,304	703	27.0	11,087	8,900	△2,187	△19.7
親会社株主に 帰属する当期純利益	1,553	1,830	277	17.8	5,190	5,700	509	9.8

2. 財政状態 (連結)

(単位: 百万円)

	2019年 3月末	2019年 6月末	増減	
			金額ほか	率 (%)
自己資本	47,404	47,997	593	1.3
総資産	252,078	248,912	△3,166	△1.3
自己資本比率	18.8%	19.3%	+0.5ポイント	2.5
ネットD/Eレシオ	2.51	2.45	△0.06	△2.2

3. 減価償却の状況 (連結)

(単位: 百万円)

	前年同期	当第1四半期	増減	2019年3月期
減価償却費	2,017	2,006	△10	8,268

4. 有利子負債残高 (連結)

(単位: 百万円)

	2019年3月末	2019年6月末	増減
社債	40,000	40,000	—
借入金	102,471	99,232	△3,239
合計	142,471	139,232	△3,239
現金及び預金	23,643	21,559	△2,084
純有利子負債残高	118,827	117,673	△1,154

5. セグメント情報 (連結)

<営業収益>

(単位: 百万円)

	前年同期 実績	当第1四半期 累計期間実績	2020年3月期 予想	2019年3月期 実績
物流事業	57,352	58,765	229,000	233,404
不動産事業	2,304	2,392	9,700	9,170
合計	59,657	61,158	238,700	242,574
調整額	△184	△184	△700	△721
連結損益計算書計上額	59,473	60,974	238,000	241,852

<営業利益>

(単位: 百万円)

	前年同期 実績	当第1四半期 累計期間実績	2020年3月期 予想	2019年3月期 実績
物流事業	2,314	2,743	8,100	9,844
不動産事業	1,289	1,398	5,700	5,114
合計	3,604	4,141	13,800	14,959
調整額	△738	△778	△3,800	△2,972
連結損益計算書計上額	2,865	3,363	10,000	11,986